

沖縄を知ろう 沖縄の今を考えよう！ ～三線のひびきと共に～

日時：1月31日（土） 開場 13:00 開演 13:30
会場：常盤平市民センターホール（松戸市常盤平3丁目30）
参加費：700円
主催：松戸「沖縄とつながろう！」実行委員会

プログラム

- 13:30
■映画上映 『「拝啓 住民投票」さま
～石垣島のまんなかでおきたこと～』
■湯本雅典監督のお話
～休 憩～
- 15:10
■三線と歌 宮里英克さん
- 16:30 終了

連絡先：
杉見 090-3248-3433
吉野 090-4606-9634



日本を「戦争する国」にさせない！

しろい・九条の会

《代表》影山廣輔 090-8848-3200



しろい・九条の会
QRコード

日本国憲法 第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、
国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際
紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空その他の戦力は、これを保
持しない。国の交戦権は、これを認めない。



憲法紙芝居動画
QRコード

美しいカラー版はホームページをご覧ください。

戦後81年

しろい 21th 九条
昭和101年

謹賀新年 「新しい戦前」を煽る 勢力から、日本の未来を守れ！

10月に発足した高市政権は、早くも軍事強化の新たな言動を振りまいています。首相はトランプ
会談で、「防衛費のGDP 2%引上げ」を約束しました。防衛費の増額は、岸田内閣の閣議決定
「安保3文書」において、2027年までに2%にするとしていましたが、高市首相はそれを2年も前倒
しして達成しようというのです。

首相といえど、国政の重要課題を国会に図ることなく決める権限はありません。“初の女性首相
、ともてはやされ、就任早々、米の原子力空母甲板上でトランプ大統領を横に、拳を上げてはしゃ
いだ行為は、日本国憲法が掲げる「主権在民」の理念から完全にかげ離れています。

韓国で行われたAPEC最終日の会見では、首相は、首脳会談などの外交成果について、「世界
の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻すために着実なスタートを切った」と語りました。しかし、
本当にそうでしょうか？ 危ぶまれていた習近平氏との会談は実現したものの内容は薄く、日本食
品の輸入再開や、拘束日本人の課題などは解決の道筋さえ示されませんでした。そして直後の国会
答弁（11/07）で『台湾有事』と『存立危機事態』を語り、中国とのこれまでの関りが一遍に御破
算となりました。さらに重ねて、首相側近の「日本は核武装すべし」発言は言語道断であり、唯一
の戦争被爆国として絶対に許されることではありません。

安倍内閣が安保法制を閣議決定したのは2014年。以後、軍国化への方向をひた走ること。そし
て、言論・報道の自由や市民生活に対する抑圧を公然化させる「スパイ防止法」の制定は自民に加
え「維新・国民・参政・保守」などが推進の方針です。これらの党は改憲、とりわけ第9条の骨抜き
の推進を狙う自民の補完勢力、あるいは自民をも超えた『極右』勢力として、ブレーキの壊れたま
ま、右ハンドルでアクセルを強く踏み続けています。

「戦争前夜に似ている……」

こうした90歳を超える先輩のつぶやきを聞くにつけ、
この正月以降、いつ行われるやも知れぬ総選挙がいか
に重要かが感じられます。まさにいまこそ「新しい国民的
共同」による健全な平和勢力の勝利が求められています。
戦争を瀬戸際で食い止めるのは、市民一人ひとりの力です。



2026年1月
しろい・九条の会 事務局



九条の会事務局講演会 高市政権の改憲策動に抗して

日時：1月31日（土） 開場 18:00 開演 18:30
会場：文京区民センター 3-A会議室（東京都文京区本郷4-15-14）
参加費：一般1000円 学生・障がい者500円
■報告1 渡辺 治（一橋大学名誉教授）
「高市政権とは何かーそのねらい・危険性と弱点」
■報告2 小澤隆一（東京慈恵会医科大学名誉教授）
「高市政権の危険な憲法政策」



九条の会
オフィシャルサイト
<http://www.9-jo.jp>

世話人会報告（2025/12/14 12月定例会）

会報の発行／会報作成の打ち合わせ／3月29日開催予定のイベントについて
世話人会に参加しませんか～（次回：2月3日予定）

日時：原則第1火曜日 9時～会報印刷／封入／配達手配

場所：まちづくりサポートセンター（市役所東庁舎入って正面）

*日時を変更する場合があります。ご参加の際は前もって、
代表：影山廣輔 090-8848-3200) または世話人にご連絡ください。

会員投稿コーナー

データセンター(DC)建設と原発再稼働に思う！ ～ データセンター建設問題 シリーズ ④ ～

桜台 山口慎治

特に、高市政権になって原発再稼働の動きが激しくなっています。新潟の花角(はなずみ)知事が、刈羽原発6号・7号機の再稼働を容認しました。引き続き北海道の鈴木知事が泊(とまり)原発の3号機再稼働に同意しました。双方とも住民の大反対の叫びに逆らった強行姿勢です。いずれも「福島事故など無かった！」かの振る舞いがそら恐ろしく感じられます。今だ3万人近い避難犠牲者が故郷に帰れず正月を迎えます。800tもある原子炉デブリの処理は全く進まず、いまだ数グラムの取り出しにあたふたしているのが東電です。まだまだ問題も犠牲も満載であるのが実態です。

今は決して電力が不足している訳ではないのに、なぜ急いで原発を動かしたがるのか？ その訳を知りたくて関連情報にも気を配り、ある報道番組の一説に、「DC(データセンター)設置に伴って供給する電力量を賄うため」の発言があり…、この言葉を聞けば、それはしごく納得のいく話となりました。

DCが使う電力量はともかく半端ではありません。少し、大まかな解り易く砕いた事例を下記してみます。

●平均的なDC1棟が使用する電力量は約500^キwh/年 ⇒ 一般的家庭(約16,000^キwh/年)の32,000戸分に匹敵。白井市の世帯総数を約24,000戸とすると、ほぼ1.3倍の都市が消費する電力量に匹敵することになる。

●桜台DC3棟が使用する電力量 ⇒ 成田空港全施設が使用する電力量に匹敵する。と言われているので、開いた口がふさがらない！となります。この膨大な電力を原発再稼働で賄おう、足りなければ新規増設だ、という訳です。電力浪費最大の施設がDCであり、これを積極的に誘致しようとしている我が白井市には大いに問題有ですが、そもそも島国の日本で、こんなにも電力を使って良いものか？ 一方、こたつを出る度にスイッチを切る年金生活者が3割にもなろうとしている現実があり、この格差に大きな落胆を覚えます。また、DCにまつわる貴重な言葉(格言)として、

- 電力を使うと、必ず『熱』を発生する！
⇒ 地球温暖化に直結
- 電力を使う機器には、必ず『電磁波』が発生する！
⇒ 様々な人間生活に影響
- DCは、24時間・365日、1秒たりとも休まずに稼働させるものなり！



話の切り口が変わりますが、一方、日本の支配勢力が異常なほど「原発」に固執し続けるのはなぜか？ その真の理由は、
●将来「日本独自で核兵器開発！」を進めるには『プルトニウム』が必須！
●『プルトニウム』製造の重要施設が『原発』であり、絶対不可欠！
ちなみに、日本の原子炉製造メーカーは、三菱重工・東芝・日立・IHI・神戸製鋼の5大企業が独占です。

目先の利益にだけ執着する新自由主義(サナエミクス)は、市民を犠牲に平和と安全を脅かし、差別と分断を進め、あとは野となれ山となれ、の無責任主義の象徴と言えます。次の国政選挙では、必ずや我々の陣営が勝利したく思います。

あなたの投稿、大募集！！ 会報にあなたの声をお寄せください。憲法のこと、戦争と平和のこと、政治・経済のことから、何気ない日常の1コマまで、どんな内容でも結構です。会員皆様の投稿、お待ちしております。

憲法審査会Watching - シリーズ ⑳

高市内閣の改憲策動に対抗するには…… 笹塚 齊藤昭夫

高市内閣は、自民党に日本維新の会がすり寄ることによって成立した。「自民・維新 連立政権合意書」には、この政権の推し進めようとしている反国民的政策の数々が列挙されている。

憲法改正についても、高市内閣は「改正一本やり」である。両党は、「憲法9条改正に関する両党の条文起草委員会」をすでに設置し、会合を開いている。さらに一步進めて、憲法審査会の中に「条文起草委員会」を常設することを提案している。審査会の中で論議を続けてきた緊急事態条項については、「26年度中に条文案の国会提出を目差す」としている。

そんな高市内閣を若い世代が支持しているのは、今を生きることに精一杯で、未来になんの希望ももてない若い世代が、変化を求めていることの証拠ではないだろうか。政治の変化を求める若い世代に応えるような運動をどのように広げていくか、どのようにして若い世代とつながっていくか、「憲法を実現する政治」を追求するうえで、今特に、急いで考えなければならない課題ではないだろうか。

(251231)